

2025年度
公益社団法人日本地すべり学会
関東支部
総会資料



The Japan Landslide Society
Kanto Branch

2025年5月8日
日比谷図書文化館（東京都）

お知らせ

本部行事

●社員総会・シンポジウム[寒冷地における斜面変動]・意見交換会

期日：2025年6月13日（金）

場所：TKPガーデンシティ渋谷（東京都渋谷区）・オンライン併用

●第64回（2025年度）研究発表会及び現地見学会

期日：2025年9月16日～9月19日

場所：奈良県奈良市、奈良春日野国際フォーラムほか

支部行事

今後、現地検討会・講演会等を予定しております。

詳細情報は、決まり次第、学会メーリングリストで連絡するほか、関東支部ホームページに掲載します。

会場利用に関するお願い

1. 館内は、レストラン（地下1階）・カフェ（1階）以外は、飲食禁止です（蓋つきドリンクを除く）
2. 館内は、撮影禁止です（事務局は記録のために許可を得て会場内の撮影を行います）
3. 会場内では、携帯電話の電源を切るか、マナーモードにしてください。

2025 年度

公益社団法人日本地すべり学会関東支部

総会次第

日時：2025 年 5 月 8 日（木）11:00～12:00

場所：日比谷図書文化館(地下 1 階)大ホール（東京都千代田区）

1. 開会
2. 挨拶 関東支部長 新井場公徳
3. 来賓挨拶 一般社団法人斜面防災対策技術協会 関東支部長 佐藤健一様
- 4 議事
 - 4 - 1. 議長選任
 - 4 - 2. 議案 第 1 号議案 事業報告及び決算の承認に関する件
 - 4 - 3. 報告
 - 報告 1 支部役員の退任・選任等
 - 報告 2 2025 年度事業計画・予算に関する報告
 - 4 - 4. その他
5. 閉会

【参考】関東支部会員数

基準日	議決権を持つ支部会員数		総会の定数
	基準日における支部会員	基準日以降に支部に所属した正会員(個人)：総会出席者	
2025 年 3 月 31 日	① 454 名	② 11名	(① + ②)/5 = 93 名

第1号議案 事業報告及び決算の承認に関する件

1. 2024年度事業報告（2024年4月1日～2025年3月31日）

(1) 総会・シンポジウム

期 日：2024年5月9日

場 所：日比谷図書文化館（地下1階）大ホール
(東京都千代田区日比谷公園1-4)

出席者数 28名 委任状数 86名 計 114名（定足数 90名以上）

総会終了後、シンポジウム「ベテラン技術者の苦労話とその教訓」開催：参加者 67名

- ・地すべり解析測線設定に問題があった事例

　　上野雄一（日特建設 株式会社・技師長）

- ・事例にみる地すべり調査のヒントとポイント

　　鴨井幸彦（株式会社 村尾技建・技師長）

- ・X世代技術者の地すべり判読とこれから

　　下河敏彦（株式会社 環境地質・営業企画・地形診断部長）

- ・総合討論（コーディネータ：新井場公徳・関東支部支部長）

- ・概要集発行

シンポジウム終了後、意見交換会を開催：参加者 36名

(2) 現地検討会

テーマ：「上信越自動車道 北野牧工事及び蓬平工事」

期 日：2024年11月8日

場 所：群馬県安中市松井田町北野牧（北野牧工事）

　　長野県埴科郡坂城町（蓬平工事）

協 力：東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所

参加者：17名（有料）

内 容：落石対策や地すべり対策等の施工現場を見学

(3) (一社) 斜面防災対策技術協会 関東支部との共催事業

名 称：合同見学会「金崎地すべりの見学」

期 日：2024年12月5日

場 所：埼玉県皆野町金崎地内（金崎地すべり）

主 催：(公社) 日本地すべり学会関東支部・(一社) 斜面防災対策技術協会 関東支部

協 力：埼玉県秩父県土整備事務所

参加者：39名（無料）

内 容：金崎地すべりの概要と既往対策施設及び施工中の対策工等を見学

(4) 若手対策事業

若手技術者への技術継承を目的として、ベテラン技術者を講師に招き次のテーマで開催を企画検討した。

「Technical Judge（技術者の判断）」

「作業仮説が外れた際のリカバリー」

開催日は、2025年6月を予定

(5) 運営委員会・幹事会

①運営委員会

・第1回 2024年4月10日 オンライン会議 出席者 13名

②幹事会

・第1回 2024年4月9日 オンライン会議 出席者 17名

・第2回 2024年7月16日 消防研究センター 出席者 11名

・第3回 2024年9月18日 宮城大会会議室 出席者 19名

・第4回 2024年12月13日 高崎駅前貸会議室 出席者 13名

(6) 広報活動等

・関東支部 Web ページ更新

2. 2024 年度決算（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

表 1 2024 年度決算(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)抜粋

大科目	中科目	小科目	細目	予算	決算	決算-予算	備考	
収益	当期収益	事業収益	シンポジウム	200,000	74,800	▲ 125,200		
			意見交換会	250,000	159,720	▲ 90,280		
			現地検討会	50,000	51,000	1,000		
			技術講習会	0	0	0	若手対策事業	
			その他事業活動	0	0	0	共催事業	
		受取利息ほか		0	736	736		
		小計		500,000	286,256	▲ 213,744		
		資金移動(本部→支部)		300,000	300,000	0		
		若手会員対策(本部→支部)		150,000	0	▲ 150,000		
	当期収益計			950,000	586,256	▲ 363,744		
費用	当期費用	事業費	シンポジウム	195,000	203,234	8,234		
			意見交換会	250,000	156,420	▲ 93,580		
			現地検討会	140,000	124,101	▲ 15,899		
			技術講習会	0	0	0	若手対策事業	
			その他事業活動	270,000	100,808	▲ 169,192	共催事業	
		管理費		95,000	8,800	▲ 86,200		
当期費用計				950,000	593,363	▲ 356,637		
当期収支差				0	▲ 7,107	▲ 7,107		

事業別の収支（再掲）			
区分	収益	費用	収支差
シンポジウム 集合形式	74,800	203,234	▲ 128,434
意見交換会	159,720	156,420	3,300
現地検討会	51,000	124,101	▲ 73,101
技術講習会 若手対策事業	0	0	0
その他事業活動 共催事業	0	100,808	▲ 100,808
計	285,520	584,563	▲ 299,043

※決算の詳細は、次頁の別表 1 に示す。

3. 監査報告（2025 年 4 月 3 日）

2024 年度の支部事業及び会計について、支部監事により監査が行われた。

別表1：2024年度決算(2024年4月1日～2025年3月31日)

			予算	決算	決算-予算	備考
【収益】						
勘定科目						
大科目	中科目	小科目	細目			
支部収益				500,000	286,256	▲ 213,744
事業収益				500,000	285,520	▲ 214,480
シンポジウム収益				450,000	234,520	▲ 215,480
参加費				200,000	74,800	▲ 125,200
意見交換会費				250,000	159,720	▲ 90,280
現地検討会収益				50,000	51,000	1,000
参加費				50,000	51,000	1,000
技術講習会収益				0	0	0
参加費				0	0	0
意見交換会費				0	0	0
出版収益				0	0	0
雑収益				0	560	560
受取利息				0	176	176
本部からの運転資金				300,000	300,000	0
同（若手会員対策費）				150,000	0	▲ 150,000
当期収益合計（A=支部収益+本部からの運転資金）				950,000	586,256	▲ 363,744
【費用】						
勘定科目						
大科目	中科目	小科目	細目			
支部費用				950,000	593,363	▲ 356,637
事業費				855,000	584,563	▲ 270,437
シンポジウム会費				445,000	359,654	▲ 85,346
印刷製本費				100,000	76,362	▲ 23,638
会場費（会場使用料）				30,000	68,600	38,600
会議費（意見交換会含む）				250,000	156,420	▲ 93,580
諸謝金				60,000	40,092	▲ 19,908
旅費交通費				0	15,920	15,920
通信運搬費				3,000	0	▲ 3,000
支払手数料				0	2,260	2,260
消耗品				2,000	0	▲ 2,000
現地検討会費				140,000	124,101	▲ 15,899
印刷製本費				10,000	0	▲ 10,000
会場費（会場使用料）				0	0	0
諸謝金				10,000	0	▲ 10,000
旅費交通費				0	5,252	5,252
借料（バス・レンタカ一代）				80,000	110,200	30,200
通信運搬費				15,000	0	▲ 15,000
支払手数料				0	1,430	1,430
消耗品				10,000	0	▲ 10,000
支払保険料				15,000	7,219	▲ 7,781
技術講習会費				0	0	0
印刷製本費				0	0	0
会場費（会場使用料）				0	0	0
諸謝金				0	0	0
旅費交通費				0	0	0
借料（バス・レンタカ一代）				0	0	0
通信運搬費				0	0	0
支払手数料				0	0	0
消耗品				0	0	0
※その他の事業活動（上記の3つ以外）				270,000	100,808	▲ 169,192
印刷製本費				20,000	0	▲ 20,000
会場費（会場使用料）				10,000	0	▲ 10,000
会議費（意見交換会含む）				0	0	0
諸謝金				30,000	0	▲ 30,000
旅費交通費				20,000	0	▲ 20,000
借料（バス・レンタカ一代）				100,000	91,810	▲ 8,190
通信運搬費				20,000	8,358	▲ 11,642
情報システム費（サーバ管理費等）				20,000	0	▲ 20,000
支払手数料				0	640	640
消耗品				20,000	0	▲ 20,000
支払保険料				25,000	0	▲ 25,000
その他・外注費				5,000	0	▲ 5,000
管理費				95,000	8,800	▲ 86,200
給与・手当				0	0	0
会場費				20,000	0	▲ 20,000
会議費				0	8,800	8,800
印刷製本費				10,000	0	▲ 10,000
旅費交通費				0	0	0
借料				0	0	0
通信運搬費				15,000	0	▲ 15,000
消耗品	事務用品費			15,000	0	▲ 15,000
備品				25,000	0	▲ 25,000
支払手数料				5,000	0	▲ 5,000
雜費				5,000	0	▲ 5,000
当期費用合計（B）				950,000	593,363	▲ 356,637
当期収支差額（C=A-B）				0	▲ 7,107	▲ 7,107
当期前払金					68,600	68,600
前期未払金					25,506	25,506
前期繰越額					933,628	933,628
次期繰越額					933,628	901,015
						▲ 32,613

監査報告書（関東支部）

2025年4月3日

公益社団法人 日本地すべり学会
会長 浅野 志穂 殿

監事 白木克繁

監事 楠本岳志

2024年4月1日から2025年3月31日までの会計及び業務の監査を行い、次の通り報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて決算書の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、会議等への出席、又は支部長から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 決算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、支部の経理の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 支部の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

※個人情報保護のため押印は修正加工しております。

報告1 支部役員の退任・選任等

2024年度総会以降における支部役員の退任・選任等は、次のとおりである。

1. 支部役員の退任

2024年5月以降に退任した運営委員・幹事は次表のとおりである。

表2 退任した運営委員・幹事

区分	氏名	所属	備考
運営委員	岡本 隆	国立研究開発法人 森林総合研究所	2025/3まで(人事異動の為)
運営委員	折田知徳	群馬県 環境森林部 森林保全課	2025/3まで(人事異動の為)
幹事	飯田健嗣	国立研究開発法人 土木研究所	2025/3まで(人事異動の為)
幹事	長谷川博	群馬県 環境森林部 森林保全課	2025/3まで(人事異動の為)
幹事	五味英司	山梨県 県土整備部 砂防課	2025/3まで(人事異動の為)

2. 支部役員の選任

2024年5月以降に、新たに支部長が選任した運営委員・幹事は次表のとおりである。

表3 選任した運営委員・幹事

区分	氏名	所属	備考
運営委員	村上 亘	国立研究開発法人 森林総合研究所	2025/4より(人事異動の為)
運営委員	影澤圭太	群馬県 環境森林部 森林保全課	2025/4より(人事異動の為)
幹事	村田郁央	国立研究開発法人 土木研究所	2025/4より(人事異動の為)
幹事	島田輝男	群馬県 環境森林部 森林保全課	2025/4より(人事異動の為)
幹事	遠藤 剛	山梨県 県土整備部 砂防課	2025/4より(人事異動の為)

3. 代議員の交替

関東支部選出の代議員のうち、正会員(団体)の代表者として選出された代議員に、代表者の変更があったことから、2025年4月に代議員の変更を本部に届け出ました（理事会報告事項）。

表4 交替を届け出た代議員（関東支部）

区分	氏名		
群馬県環境森林部 森林保全課	旧	折田知徳	オリタ トモノリ
	新	影澤圭太	カゲサワ ケイタ

別表2 第7期(2024-2025年度)関東支部役員

2025年5月8日現在

区分	氏名	所属	備考	役割分担
支部長	新井場公徳	消防庁消防研究センター		
副支部長	若井明彦	国立大学法人 群馬大学大学院 理工学府		
監事	白木克繁	国立大学法人 東京農工大学 農学部森林環境学講座		
運営委員	楠本岳志	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門		
	村上 亘	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 森林研究部	交代	
	山本佳敬	山梨県 県土整備部 砂防課		
	影澤圭太	群馬県 環境森林部 森林保全課	交代	
	上森弘樹	一般社団法人砂防・地すべり技術センター 斜面保全部		
	宇次原雅之	日特建設株式会社 技術開発本部		
	小林 豊	日本サーベイ株式会社		
	小野田敏	アジア航測株式会社 社会インフラマネジメント事業部		
	平木慎一	株式会社日さく 東日本支社 調査部		
	林 一成	奥山ボーリング株式会社		
幹事長	正田大輔	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門		
幹事長	木村勝美	大日本ダイヤコンサルタント株式会社 関東支社CSR部		総括
副幹事長	樽角 晃	応用地質株式会社		総務1
	林 一成	奥山ボーリング株式会社		総務2
	西尾克人	国土防災技術株式会社 関東支社管理部		会計
幹事	村田郁央	国立研究開発法人 土木研究所	交代	企画2
	正田大輔	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門		企画2
	経隆 悠	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 森林研究部		総務1
	土志田正二	消防庁消防研究センター		企画1
	島田輝男	群馬県 環境森林部 森林保全課	交代	広報
	遠藤 剛	山梨県 県土整備部 砂防課	交代	広報
	佐々木優	明治コンサルタント株式会社		企画1
	牧野孝久	日本工営株式会社 中央研究所 技術開発センター		総務2
	下河敏彦	株式会社環境地質		企画1
	松田昌之	アジア航測株式会社 社会インフラ技術部		企画1
出納事務担当者	小塚朋子	株式会社日さく 東日本支社 調査部		企画1
支部情報・事務責任者	西尾克人	国土防災技術株式会社 関東支社管理部		
アウトリーチ連絡会担当	木村勝美	大日本ダイヤコンサルタント株式会社 関東支社CSR部		
会員数対策担当	林 一成	奥山ボーリング株式会社		
幹事会役割分担	土志田正二	消防庁消防研究センター		

幹事会役割分担

総括	全体調整・渉外	木村(幹事長)
会計	会計処理、監査対応、通帳の保管・出納処理 (出納事務担当者)	西尾
総務1	総会等運営	樽角・経隆
総務2	幹事会・運営委員会運営	林・牧野
企画1	現地検討会、講習会の企画・運営(現地検討会・若手対策事業)	土志田・下河・松田・小塚・佐々木
企画2	シンポジウムの企画・運営	正田・村田
広報	広報活動・関係機関調整	島田・遠藤
特任事項	支部Web管理	林
	共催事業	牧野・林
	森林分野CPD管理	林

報告 2 2025 年度事業計画・予算に関する報告

1. 2025 年度事業計画(理事会承認)

- (1) 支部総会：2025 年 5 月 8 日
(日比谷図書文化館地下 1 階大ホール(東京都))
- (2) 関東支部シンポジウム：2025 年 5 月 8 日
(日比谷図書文化館地下 1 階大ホール(東京都))
- (3) 意見交換会：2025 年 5 月 8 日
- (4) 現地検討会
 - 2025 年 9~11 月 1 回
- (5) 共催行事
 - 2025 年 11 月 (一社)斜面防災対策技術協会関東支部との共催
- (6) 運営委員会・幹事会等
 - ①運営委員会
 - 第 1 回 2025 年 4 月、第 2 回 2025 年 12 月
 - ②幹事会
 - 第 1 回 2025 年 4 月、第 2 回 2025 年 6 月、第 3 回 2025 年 9 月
 - 第 4 回 2025 年 12 月、第 5 回 2026 年 3 月
 - ③(一社)斜面防災対策技術協会関東支部との定例会
 - 2025 年 6 月
- (7) 災害調査
 - 災害発生状況に応じて本部と連携し適宜実施
- (8) 若手会員対策事業
 - 講習会と実習形式の勉強会を企画検討
- (9) 第 65 回 (2026 年度) 研究発表会および現地見学会への対応
 - 実行委員会および幹事会の組織立ち上げ

2. 2025年度予算(理事会承認)

2025年度予算は次のとおりである。

表5 2025年度予算(2025年4月1日～2026年3月31日)抜粋

区分			2024予算	2025予算	2025-2024	
収益	当期収益	事業収益	シンポジウム	200,000	150,000 ▲ 50,000	
			意見交換会	250,000	200,000 ▲ 50,000	
			現地検討会	50,000	125,000 75,000	
			その他の事業	0	0	
	その他の収益		0	0	0	
	本部からの運転資金		300,000	300,000	0	
	若手対策事業		150,000	150,000	0	
	当期収益計		950,000	925,000 ▲ 25,000		
	費用	事業費	シンポジウム	195,000	175,000 ▲ 20,000	
			意見交換会	250,000	200,000 ▲ 50,000	
			現地検討会	140,000	150,000 10,000	
			その他の事業	270,000	320,000 50,000	
					0	
		管理費	95,000	180,000 85,000		
当期費用計			950,000	1,025,000 75,000		
当期収支差			0	▲ 100,000	▲ 100,000	

事業別の収支(再掲)			
区分	収益	費用	収支差
シンポジウム	150,000	175,000	▲ 25,000
意見交換会	200,000	200,000	0
現地検討会	125,000	150,000	▲ 25,000
その他の事業 若手対策/共催	0	320,000	▲ 320,000
計	475,000	845,000	▲ 370,000

別表3：2025年度予算(2025年4月1日～2026年3月31日)

			2024年度予算	2025年度予算	差額	備考
【収益】						
大科目	中科目	小科目	細目			
支部収益				500,000	475,000	-25,000
事業収益				500,000	475,000	-25,000
シンポジウム収益				450,000	350,000	-100,000
参加費				200,000	150,000	-50,000
意見交換会費				250,000	200,000	-50,000
現地検討会収益				50,000	125,000	75,000
参加費				50,000	125,000	75,000
その他の事業収益				0	0	0
参加費				0	0	0
出版収益				0	0	0
協賛・寄付				0	0	0
雑収益				0	0	0
受取利息				0	0	0
預り金				0	0	0
本部からの運転資金				300,000	300,000	0
若手会員対策事業				150,000	150,000	0
当期収益計(A1=支部収益+運転資金+若手対策事業)				950,000	925,000	-25,000
【費用】						
大科目	中科目	小科目	細目			
支部費用				950,000	1,025,000	75,000
事業費				855,000	845,000	-10,000
シンポジウム会費				445,000	375,000	-70,000
印刷製本費				100,000	100,000	0
会場費(会場使用料)				30,000	0	-30,000
会議費(意見交換会含む)				250,000	200,000	-50,000
諸謝金				60,000	60,000	0
旅費交通費					10,000	10,000
通信運搬費				3,000	3,000	0
消耗品				2,000	2,000	0
現地検討会費				140,000	150,000	10,000
印刷製本費				10,000	2,000	-8,000
会場費(会場使用料)				0	0	0
会議費(意見交換会含む)				0	0	0
諸謝金				10,000	10,000	0
旅費交通費				0	10,000	10,000
借料(バス・レンタカー代)				80,000	100,000	20,000
通信運搬費				15,000	15,000	0
支払保険料				15,000	10,000	-5,000
消耗品				10,000	3,000	-7,000
※その他の事業活動(上記以外)				270,000	320,000	50,000
印刷製本費				20,000	10,000	-10,000
会場費(会場使用料)				10,000	10,000	0
会議費(意見交換会含む)				0	0	0
諸謝金				30,000	40,000	10,000
旅費交通費				20,000	20,000	0
借料(バス・レンタカー代)				100,000	160,000	60,000
通信運搬費				20,000	30,000	10,000
情報システム費(HP関係な				20,000	10,000	-10,000
支払手数料				0	0	0
消耗品				20,000	10,000	-10,000
支払保険料				25,000	25,000	0
その他				5,000	5,000	0
管理費				95,000	180,000	85,000
給与・手当				0	0	0
会場費				20,000	0	-20,000
会議費				0	40,000	40,000
印刷製本費				10,000	0	-10,000
旅費交通費				0	0	0
借料				0	0	0
通信運搬費				15,000	15,000	0
消耗品	事務用品費			15,000	100,000	85,000
備品				25,000	20,000	-5,000
外注費				0	0	0
支払手数料				5,000	0	-5,000
雜費				5,000	5,000	0
当期費用合計(B1)				950,000	1,025,000	75,000
当期収支差額(C=A1-B1)				0	-100,000	-100,000

公益社団法人日本地すべり学会 関東支部運営内規

第1章 総則

(目的)

第1条 この内規は、公益社団法人日本地すべり学会関東支部の運営を円滑に進めることを目的として定める。

2. 関東支部の運営は、公益社団法人日本地すべり学会定款、公益社団法人日本地すべり学会規則(以下「学会規則」という)、支部運営細則、土砂災害緊急調査細則、研究発表会実施細則及びこの運営内規に基づいて実施する。

第2章 支部役員

(支部役員)

第2条 関東支部に、学会規則の定める支部長、副支部長、支部監事のほか、運営委員、幹事長、副幹事長、幹事を置く(以下「役員」という)。

2. 役員の定員は下記のとおりとする。

支部長	1名
副支部長	1~2名
支部監事	2名
運営委員	5~20名
幹事長	1名
副幹事長	1~2名
幹 事	5~20名

3. 副支部長を2名置く場合は、代行順位を付けるものとする。第1順位の副支部長は、支部長に事故あるときにその職務を代行する。

(職務・報酬)

第3条 運営委員は、支部の運営を協議する。

2. 幹事は支部の運営に関する実務を行い、幹事長はこれを総括する。副幹事長は幹事長を補佐する。

3. 役員は、無給とする。

(選任)

第4条 支部長、副支部長、支部監事は、運営委員会が支部に所属する正会員のうちから推薦し、支部総会において選任する。

2. 運営委員は、支部に所属する正会員のうちから支部長が委嘱する。

3. 幹事長、副幹事長、幹事は、原則として、支部に所属する正会員のうちから支部長が委嘱する。

(任期)

第5条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

2. 支部長、副支部長、監事の任期の始期は、総会において選任された時とし、次期役員が総会において選任された時までとする。

3. 運営委員、幹事長、副幹事長、幹事の任期の始期は、支部長が委嘱した時とし、次期役員が委嘱される時までとする。

4. 役員が欠員となったときには、役員を選任することができるが、任期の終期は、欠けた役員の任期の終期と同じとする。

(解任)

第6条 役員が、次のいずれかに該当するに至ったときには、総会の決議によって解任することができます。

(1) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えられないとき。

(2) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき

第3章 支部総会

(構成・議長)

第7条 支部総会は、支部に所属する正会員をもって構成する。

2. 支部総会の議長は、支部総会において、支部に所属する正会員(役員を除く)の中から選出する。

(決議事項)

第8条 支部総会は、支部に関する次の事項を決議する。

(1) 運営内規の変更、廃止

(2) 事業報告及び決算

(3) 会計および業務執行に関する支部監事の報告

(4) 支部長、副支部長、支部監事の選任又は解任

(5) 幹事長、副幹事長、運営委員、幹事の解任

(6) その他、支部総会で審議することが決議された事項

(定足数・議決)

第9条 総会は、支部に所属する正会員の1/5以上の出席がなければ開催することができない。

2. 総会の議事は、出席した正会員の過半数を持って決し、可否同数の時は、議長の決するところによる。

3. 総会に出席できない正会員が、書面または電磁的方法をもってあらかじめ意思を表示した場合は、総会の定足数及び議決数に算入する。

4. 支部総会の議事については、議事録を作成しなければならない。

5. 支部長は、支部監事から、その事由を付した文書により支部総会の開催を請求された場合は、速やかに支部総会の招集をおこなわなければならない。

第4章 運営委員会 (構成・招集・議長)

第10条 運営委員会は、支部長、副支部長、支部監事、運営委員のほか、幹事長、副幹事長をもって構成する。

2. 運営委員会の会議は、支部長が招集する。また、会議の議長は、支部長または副支部長がこれにあたる。

(決議事項)

第11条 運営委員会は、支部に関する次の事項を決議する。

- (1) 支部総会に付議するべき事項
- (2) 支部総会の決議事項の執行に関する事項
- (3) 事業計画及び予算
- (4) 支部長、副支部長、支部監事の推薦
- (5) その他運営に関する事項

(議決)

第12条 運営委員会の議事は、決議について特別の利害関係を有する者を除く出席した運営委員会の構成員の過半数をもって決する。

2. 運営委員会の議事については、議事録を作成しなければならない。

3. 運営委員会は、支部運営細則第6条第3項および第4項に規定する会議を兼ねるものとする。

第5章 幹事会

(構成)

第13条 幹事会は、幹事長、副幹事長、幹事をもって構成する。

2. 支部運営を円滑に行うため、幹事長の下に総務、会計、広報、企画の担当を置く。

(役割)

第14条 幹事会は、支部長の指揮を受けて、次の事項を実施する。

(1) 総会、運営委員会の決議事項に関する事項

(2) 支部長の指示した事項

(3) その他運営に関する事項

(会議)

第15条 会議は、幹事長が招集し、必要に応じて、支部長または副支部長の参加を求めることができる。また、支部監事は、必要に応じて、会議を傍聴することができる。

2. 会議の議長は、幹事長または副幹事長がこれにあたる。

3. 幹事長は、会議の内容について、支部長に報告しなければならない。

(事務局)

第16条 幹事会の事務を効率的に処理するため、事務局を設置することができる。

2. 事務局の設置及び運営に関する事項については、支部長が定める。

第6章 災害調査

(職務)

第17条 支部長は、支部区域で発生した災害に対して、調査チームを組織して、情報収集及び現地調査を行うことができる。

2. 支部長は、土砂災害緊急調査細則に定める土砂災害緊急対応委員会から要請があった場合は、調査団員の派遣等を行うものとする。

第7章 研究発表会実行委員会

(設置)

第18条 支部長は、研究発表会実施細則第4条に定められた研究発表会開催の要請をうけ、実施を委任された場合は、研究発表会実行委員会を設置する。

2. 研究発表会実行委員会の設置のための準備、設置されるまでの間の対応は、幹事会が行うものとする。

第8章 文書管理

(公的文書)

第19条 公的文書とは、支部の運営上発信が必要な文書で、かつ支部の代表印を押捺した文書をいう。

(文書の保管)

第20条 公的文書は、発信した文書の控えを幹事長が保管する。

2. 公的文書の保管期間は、原則として発信後2年間とするが、必要な場合は保管期間を延長することができる。

(名簿等の管理)

第21条 支部会員名簿は、必要に応じて、幹事長が本部より提供を受けて、管理する。

2. 支部会員名簿等の取り扱いにあたっては、データの漏えいの防止等のために、必要な処置を講じなければならない。

第9章 会計処理

(金銭の出納)

第22条 支部における金銭の出納、収納および保管は、会計担当の幹事が行うものとする。

2. 支部が管理する預金の出納に使用する印鑑は、支部長の職名を刻した印とし、会計担当の幹事が保管し押印する。

3. 支部運営細則第8条に規定する支部の出納事務担当者には、会計担当の幹事をあてる。

(監査)

第23条 支部監事は、決算時および必要と認められる場合は、支部の会計について監査を行

い、文書により支部総会に報告しなければならない。

(会計書類の管理)

第 24 条 会計書類は、直近 2 年分を会計担当の幹事が保管する。また、それ以前の分は、本部に保管を依頼する。

2 会計書類の取り扱いにあたっては、滅失、き損の防止等のために、必要な処置を講じなければならない。

第 10 章 技術委員・研究会

(技術委員)

第 25 条 支部長は、技術者教育、啓発活動を行うために、原則として、支部に所属する正会員のうちから、技術委員を委嘱することができる。

2. 技術委員の任期は、第 5 条に定める役員の任期と同等とする。

(研究会)

第 26 条 支部長は、特定のテーマの調査研究活動を行うために、研究会を設置することができる。

付 則

1. 本運営内規は、平成 24 年 10 月 1 日から施行する。
2. 本運営内規の変更（第 4 条、第 17 条）は、平成 28 年 5 月 12 日から施行する。
3. 本運営内規の変更（第 22 条、第 25 条、第 26 条）は、平成 29 年 5 月 12 日から施行する。
4. 本運営内規の変更（第 20 条、第 21 条、第 24 条）は、平成 30 年 5 月 7 日から施行する。
5. 本運営内規の変更（第 19 条、第 20 条）は、令和元年 5 月 10 日から施行する。
6. 本運営内規の変更（第 9 条）は、令和 2 年 5 月 9 日から施行する。

■ (公社) 日本地すべり学会関東支部 2024 年度総会・シンポジウム開催報告 (公社) 日本地すべり学会関東支部

1. 実施概要

- (1) 開催日
令和 6 年 5 月 9 日 (木)
- (2) 開催地
日比谷図書文化館（地下一階）大ホール
(東京都千代田区日比谷公園 1-4)
- (3) 主催
(公社) 日本地すべり学会関東支部
- (4) 来賓
(一社) 斜面防災対策技術協会
関東支部長 佐藤健一氏
- (5) 参加人数
総会 : 28 名, 委任状 86 名, 合計 114 名 (定足数 90 名以上)
シンポジウム : 67 名, 意見交換会 : 36 名

2. 内容

- (1) 総会
新井場支部長の挨拶 (写真-1) に続いて, 来賓の佐藤健一氏によるご祝辞 (写真-2) をいただいた後, 議事に入った。議長は, 事務局から櫻井正明氏 (株式会社山地防災研究所) が推薦され, 承認された。定足数・出席者数・表決書数・委任状数が確認され, 定足数を満たしたため, 総会及び決議が成立することが事務局より説明された。
第 1 号議案では, 木村幹事長・齊藤副幹事長より, 2023 年度の事業報告及び決算報告がなされ, 楠本監事による監査報告がされた。審議の結果, 賛成多数で, 本議案は了承された。
第 2 号議案では, 木村幹事長より, 支部長・副支部長・監事の選任に関する説明がなされ, 審議の結果, 賛成多数で, 本議案は了承された。
この他, 木村幹事長より, ①支部役員の退任・選任に関する報告, ②2024 年度事業計画・予算に関する報告が行われた。
- (2) シンポジウム
シンポジウムでは, 「ベテラン技術者の苦労話とそ

の教訓」をテーマとして, 上野雄一氏より「地すべり解析測線設定に問題があった事例」(写真-3), 鴨井幸彦氏より「事例にみる地すべり調査のヒントとポイント」(写真-4), 下河敏彦氏より「X 世代技術者の地すべり判読とこれから」(写真-5) と題して, それぞれ講演が行われた。講演後, 新井場公徳氏をコーディネータとして総合討論が行われ, ベテランも若手も交えて, 活発な意見交換が行われた (写真-6, 7)。最後に, 新井場支部長による挨拶があり, シンポジウムは閉会となった。

3. おわりに

多くの皆様に, 総会・シンポジウムの会場にご来場いただき, ありがとうございました。特に学生・若手技術者の育成や, 経験豊富なベテランからの技術の継承について, 活発な議論があり, 各会員の立場によらず, 共通の課題として認識されていることを実感しました。シンポジウム後には, 新型コロナウイルス感染症により中止を余儀なくされていた意見交換会を, 5 年ぶりに開催することができました。そこでも参加者による活発な議論が続いており, 学会としてこのような機会を提供することの重要性を再認識しました。今後とも支部の活動, 運営にあたり, 会員の皆様のご協力のほどよろしくお願ひいたします。



写真-1 総会・新井場支部長挨拶



写真-2 総会・来賓の佐藤健一氏によるご祝辞



写真-5 シンポジウム・下河敏彦氏ご講演



写真-3 シンポジウム・上野雄一氏ご講演



写真-6 シンポジウム・総合討論



写真-4 シンポジウム・鴨井幸彦氏ご講演



写真-7 シンポジウム・会場の様子

(文責：関東支部幹事 經隆悠)

■ (公社) 日本地すべり学会関東支部 2024 年度現地検討会 開催報告 「上信越自動車道 北野牧工事及び蓬平工事」

(公社) 日本地すべり学会関東支部

1. 実施概要

本年度は、東日本高速道路株式会社関東支社 長野工事事務所のご協力を得て「上信越自動車道 北野牧工事及び蓬平工事」を対象とした現地検討会を実施しましたのでご報告いたします。

今回の現地検討会は、上信越自動車道の北野牧工事と蓬平工事において落石対策や地すべり対策等の施工現場を見学し、地すべり等対策に対する理解を深めることを目的に開催いたしました。

- (1) 開催日 : 2024 年 11 月 8 日 (金)
- (2) 場所 : 群馬県安中市松井田町北野牧 (北野牧工事)
長野県埴科郡坂城町 (蓬平工事)
- (3) 主催 : (公社) 日本地すべり学会 関東支部
- (4) 協力 : 東日本高速道路株式会社
関東支社 長野工事事務所
- (5) 参加人数 : 17 名

2. 検討会の内容

東日本高速道路株式会社関東支社 長野工事事務所の金子副所長様の案内により、北野牧工事及び蓬平工事の現場を案内いただき、施工現場を見学させていただきました。

北野牧工事 (群馬県安中市松井田町北野牧) は、上信越自動車道北野牧トンネル直上の断崖絶壁 (平均傾斜約 70 度、比高約 70m) において、不安定な亀裂岩盤に対して掘削工および落石対策工等の対策を実施しています。この工事現場は、断崖絶壁に作られた大規模な足場が特徴的で上部斜面ではさく岩機や割岩機など複数の重機が連携して岩盤の掘削を行っていました。掘削した岩塊はダンプカーに乗せられ、背後に作られたインクラインにより下方の道路までおろされて搬出されるということでした。

蓬平工事 (長野県埴科郡坂城町) は切土のり面の地すべり変状及び既設グラウンドアンカーの経年劣化対策として、本線をボックスカルバート化し、埋め戻しによる押え盛土工等の対策が実施されています。

今回の見学では本線上に施工されるボックスカルバートの施工完了間近で、頂板部の躯体の施工状況が見学できました。カルバート化の完了後は、押え盛土の施工に移ることでした。

各施工現場見学の終わりには工事に対する質疑の時間が設けられ、参加者から多くの質問がありました。金子副所長様より質問の回答に加え、工事に関する課題や解決方法についてもご教授いただきました。今回の現地検討会では、大規模な落石対策や地すべり対策の施工現場を見学することができ、大変貴重な経験ができたと考えております。

3. おわりに

関東支部では、今後も現場に密着した講習会や現地検討会に加え、学生・若手技術者の育成をテーマとした活動を実施していく予定です。

最後に、現地検討会の開催にあたり、御協力を頂いた東日本高速道路株式会社関東支社 長野工事事務所の皆様、また、現場で案内をフォローいただきました施工会社の皆様には大変お世話になりました。ここに記して、厚く御礼申し上げます。



写真-1 金子様による工事概要説明



写真-2 北野牧工事 挖削工実施状況



写真-3 北野牧工事現場にて集合写真



写真-4 蓬平工事現場見学状況

(関東支部幹事会 松田昌之)

■ (公社) 日本地すべり学会関東支部・(一社) 斜面防災対策技術協会関東支部 「金崎地すべりの見学」開催報告

(公社) 日本地すべり学会関東支部

1. 実施概要

関東支部では、平成 27 年度より (一社) 斜面防災対策技術協会関東支部との共催事業を行っております。令和 6 年度は埼玉県秩父地方に位置する大規模地すべりである金崎地すべりを対象としました。

表-1 見学会の実施概要

開催日	令和 6 年 12 月 5 日 (木)
開催地	埼玉県皆野町金崎地すべり
主催	(公社) 日本地すべり学会関東支部 (一社) 斜面防災対策技術協会関東支部
協力	埼玉県秩父県土整備事務所
参加者数	39 名 (講師含む)

2. 内容

金崎地すべりは、埼玉県皆野町大字金崎地内の荒川左岸にあり、宝登山 (497m) 南麓の標高 250m より下位の山腹斜面に位置し、地質的には三波川帯の結晶片岩及び蛇紋岩の分布域にあたる。昭和 34 年に地すべり防止区域に指定され、対策工の進展とともに活動は沈静化してきている。大局的には 5 つのブロックに区分されており、今回の見学会では、最も大きな E ブロック (幅約 400m, 奥行き約 500m) を対象とした。

見学会では、対岸から全体像を見て概要説明を受け、また河原の蛇紋岩の露頭を見学し (撫で) た。続いて地すべり地内にはいり、傾斜の急な中を、側方亀裂、頭部の陥没域 (線状凹地)、分離小丘、神社参道の破損状況、集水井の施工現場などを見学した。また、71m のボーリングコアを並べていただき、詳しく観察した。

このブロックの上部斜面には頭部陥没域と推定される規模の大きな線状凹地がある、一部は湿地となっており、この地すべりの全体像を考えるうえでは重要な地形となっている。かなり長スパンの伸縮計の設置跡があり、古くから注目してきたことが分かる。

共催事業の特徴として、施工会社のご協力をいただいて施工箇所の見学もあることが挙げられる。今回も排水ボーリング施工途中の集水井の見学をさせていただき、スライムのサンプリングのお話を聞きした。

ボーリングコアの観察では、ほぼ全長にわたってきれいに採取されたコアを詳しく見ることができた。

所々に見られる粘土に着目して議論する方や、ベテランが「おかしなところ」と言ったところを「どうおかしいのですか」と聞く若手の方などがいました。全体としてベテランも若手も学ぶところが多い一日だったのではないかと思われた。

3. おわりに

末筆ながら、見学会を合同で開催しました (一社) 斜面防災対策技術協会関東支部の関係各位に厚く御礼を申し上げます。また、ご協力いただいた埼玉県秩父県土整備事務所の皆様及び現地にて丁寧なご説明を頂いた講師はじめ工事関係者の皆様に感謝申し上げます。

日本地すべり学会関東支部では、このような行事の企画や運営に参画してくださる方を募集しています。少しでも心動いた方は支部長まで (araiba@fri.go.jp)。



写真-1 小春日和の地すべりの対岸にて



写真-2 頭部の陥没域に行く (手前が移動土塊)

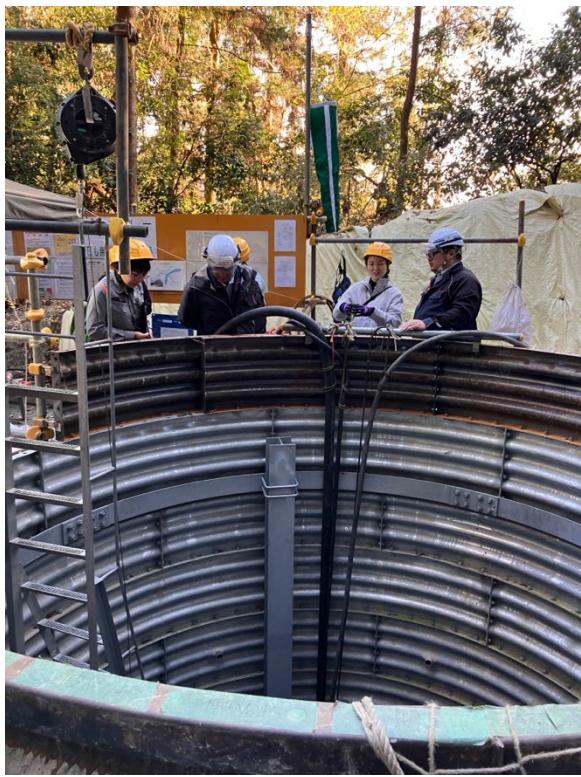


写真-3 集水井の施工の様子



写真-4 ポーリングコアの観察

(関東支部幹事 牧野孝久、木村勝美)

支部会員の皆さまへのお知らせ

1) 学会名簿（会員情報）について

関東支部総会の支部会員の確定は、年度末に学会に登録された会員情報（以下学会名簿と呼ぶ）に基づいて行います。また、支部会員への総会の連絡は、学会名簿に掲載されたメールアドレスに電子メールにより行います。年度末には、学会名簿の記載内容をご確認いただくとともに、変更があった場合は速やかに変更を行ってください。

2) 支部行事の連絡について

関東支部の行事の連絡は、主として、①学会メーリングリスト、②関東支部 Web ページを通じて行います。学会メーリングリストにぜひ登録してください。

●学会名簿

学会名簿に記載された会員情報の確認と変更は、学会 Web ページから行えます。

学会 Web ページ→会員→会員情報の確認と変更

<https://japan.landslide-soc.org/join/update.html>

●学会メール配信サービス

学会メーリングリスト（jisuberi）への登録等は、学会 Web ページを参照してください。

学会 Web ページ→会員→自由参加のメーリングリスト

<https://japan.landslide-soc.org/join/mailnglist.html>

●関東支部 Web ページ

学会 Web ページから、「関東支部」をクリックしても入ることができます。

<https://japan.landslide-soc.org/kanto.html>